

授業科目 社会福祉援助技術論Ⅰ

【担当教員名】 村上信	対象学年	2	対象学科	社会（2年）
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】
 社会福祉の諸施策をサービス利用者にとって価値あるものにするために、福祉施策を具体化していく過程で不可欠な専門的社会福祉援助活動（ソーシャルワーク）で用いられる援助の方法・技術（社会福祉援助技術）に関する全体系を総合的に学ぶ。
 社会福祉援助技術論Ⅰでは、ソーシャルワークの共通基盤を理解する。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

1. 社会福祉の体系のなかでソーシャルワークが果たす役割や機能を説明できる。
2. 社会福祉の対象となる生活問題、社会福祉ニーズ、社会福祉サービスの担い手、社会福祉援助活動の領域について説明できる。
3. ソーシャルワークの価値と倫理・原則について説明できる。
4. ソーシャルワークの発展過程を学び、日米のソーシャルワークの形成過程を比較できる。
5. ソーシャルワークの展開過程について説明できる。
6. ソーシャルワークの援助技法・実践モデルについて説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義
2	社会福祉とソーシャルワーク	1, 2	
3	社会福祉サービスを利用する人びと	1, 2	
4	社会福祉サービスを提供する人	1, 2	
5	ソーシャルワーク適用の領域と場面	1, 2	
6	ソーシャルワークの目的・価値と倫理・原則	1, 3	
7	ソーシャルワークの歴史	4	
8	ソーシャルワークの展開過程	5	
9	ソーシャルワークの技法Ⅰ	5, 6	
10	ソーシャルワークの技法Ⅱ	5, 6	
11	ソーシャルワークの実践モデルⅠ	6	
12	ソーシャルワークの実践モデルⅡ	6	
13	ソーシャルワークの実践モデルⅢ	6	
14	ソーシャルワークをめぐるわが国および諸外国の動向と課題	1, 4, 6	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	『社会福祉援助技術論 [上]』	久保紘章・佐藤豊道ほか編著	川島書店	
	『社会福祉援助技術論 [下]』	久保紘章・佐藤豊道ほか編著	川島書店	
参考書	『社会福祉援助技術論(上)』	北島英治ほか編	ミネルヴァ書房	
	『社会福祉援助技術論(下)』	北島英治ほか編	ミネルヴァ書房	
その他の資料	必要に応じてプリントを配布する			

【評価方法】 出席状況と定期試験	【履修上の留意点】
---------------------	-----------